

## 「日本語教育の参照枠」活用のための手引き等について（案）

## (1) 「日本語教育の参照枠」活用のための手引きに含むべき項目について

## はじめに

目的：Can do をもとにしたカリキュラム編成の方法について事例を挙げながら、  
わかりやすく示すこと

対象：日本語教育コーディネーター、日本語教師、日本語学習支援者など

構成：第1部 理念編、第2部 実践事例編、資料編

## 第1部 理念編

## 1. 「日本語教育の参照枠」とは

- (1) 目的、対象（第二言語としての日本語教育の推進を目的とする）
- (2) 言語教育観の3つの柱
- (3) 日本語能力観
- (4) 日本語のレベル尺度
- (5) Can do の種類（活動、方略、テキスト、能力）
- (6) 評価の三つの理念
- (7) 参照枠の活用により期待される効果  
（学習者、日本語教師、教育機関、行政機関、試験機関）

## 2. Can do とは

- (1) Can do とは何か、どのような経緯でできたのか
  - ・スイスプロジェクトにおける Can do 開発
- (2) CEFR において、Can do で示されている/示されていない能力
  - ・言語能力（CEFR に Can do がある）
  - ・異文化理解能力（CEFR-CV に Can do がある）
  - ・意欲、態度、価値観などの一般的能力(CEFR には Can do がない)

## 3. 外国語教育における Can do の活用の事例と展望

- (1) 外国語教育における Can do の活用の事例
  - ・中国語教育の事例（外国語としての中国語教育）
  - ・韓国語教育の事例（外国語としての韓国語教育、「多文化家族」への韓国語教育）
- (2) Can do をベースにしたカリキュラム実施によって授業はどのように変わるか
  - ・日本語教育における各分野の実践者の困み記事等

## 1. Can do をベースにしたカリキュラム編成の方法について

- (1) どのようにコースをデザインするか（コースデザインの概要）
- (2) シラバスへの Can do の組み込み方（Can do サイトやリストを利用して）
- (3) 評価方法の検討
  - ・テスト
  - ・パフォーマンス評価（ルーブリックの作成）
  - ・ポートフォリオ評価

## 2. Can do をベースにしたカリキュラムの事例

### (1)留学

- ①カリキュラム開発の経緯、背景
- ②対象、目的
- ③カリキュラム作成のプロセス
- ④評価の方法
- ⑤教室活動の実践事例
- ⑥運用した結果、効果
- ⑦課題

### (2)就労

- ①カリキュラム開発の経緯、背景
- ②対象、目的
- ③カリキュラム作成のプロセス
- ④評価の方法
- ⑤教室活動の実践事例
- ⑥運用した結果、効果
- ⑦課題

### (3)生活

- ①カリキュラム開発の経緯、背景
- ②対象、目的
- ③カリキュラム作成のプロセス
- ④評価の方法
- ⑤教室活動の実践事例
- ⑥運用した結果、効果
- ⑦課題

## 資料編

- ・ FAQ (一問一答形式)
- ・ 用語の解説：代替的評価、母語話者、CEFR増補版など
- ・ Can do の作成方法及び検証手法におけるガイドライン (一次報告の再録)
- ・ 「生活 Can do」の作成方法とリスト
- ・ Can do の量的検証について
- ・ Can do に関する参考文献、報告書、ウェブサイト等

## (2) 学習者のための支援ツールについて

### ○ 自己評価のための日本語能力判定簡易アプリ等

- ・ 欧州現代言語センターが公開している言語能力を自己評価できるサイトを参考にし、日本語学習者向けの自己評価ツールを作成する。
- ・ 日本語を含む 14 言語に翻訳された CEFR Can do で日本語能力を自己評価する。
- ・ 評価結果と共に、言語活動ごとのレベルに合った学習リソースのリンクを示す。

Self-evaluate your language skills :

<https://edl.ecml.at/LanguageFun/Self-evaluatemylanguageskills!/tabid/2194/Default.aspx>



## Self-evaluate your language skills

The 'Self-evaluate your language skills' tool helps you to assess your level of proficiency in the languages you know according to six reference levels described in the **Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)**. The game draws on the CEFR's Self-assessment grid. This tool was developed by the **European Centre for Modern Languages of the Council of Europe**.

Tool available in: Bosnian, Croatian, Czech, English, French, German, Greek, Italian, Lithuanian, Polish, Portuguese, Romanian, Russian, Slovenian, Spanish

For webmasters: Do you want to add this tool to your website? Please click here.



### SELF-EVALUATE YOUR LANGUAGE SKILLS

The 'Self-evaluate your language skills' tool helps you to assess your level of proficiency in the languages you know according to six reference levels described in the **Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)**. The tool draws on the CEFR's self-assessment grid.

This tool was developed by the **European Centre for Modern Languages of the Council of Europe**, [www.ecml.at](http://www.ecml.at).

Start



### (3) 広報・活用のための方法について

- 「日本語教育の参照枠」を分かりやすく紹介する広報素材
  - ・A4 見開きのパンフレット
  - ・日本語を含む 14 言語に翻訳する
  
- 「日本語教育の参照枠」関連サイト
  - ・日本語教育コンテンツ共有システム（NEWS）内に、一次・二次報告、活用のための手引き、日本語を含む 14 言語に翻訳した Can do、パンフレット等の置き場所を確保する。